

令和4年度第2回 半田市介護保険運営協議会 議事録

開催日時	令和5年2月3日(金)	14時00分～15時40分
開催場所	半田市役所 会議室 303・304	
会議次第	<p>1 はじめに</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 半田市介護保険事業の実施状況について【資料1】</p> <p>(2) 半田市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の進捗状況について【資料2】</p> <p>(3) 第9期計画策定に係る各種調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度「高齢者実態調査」について【資料3】 ・令和4年度「在宅介護実態調査」について【資料4】 <p>3 その他</p>	
出席委員 (欠席委員)	<p>(会長) 竹内 一浩</p> <p>(委員) 新美 貴弘、稲熊 直樹、安藤 健一、(加藤 金吉)、(篠崎 誠)、稲葉 賢次、林 豊、加藤 博史、森川 武彦、大橋 典子、山崎 秀和、原田 三樹子、榊原 康仁、伊藤 大介、古橋 完美、榊原 かおる、江口 澄子、松井 一夫</p> <p style="text-align: center;">※敬称略</p>	
事務局	<p>(福祉部) 竹部部長</p> <p>(高齢介護課) 沢田課長、茶谷副主幹、藤塚副主幹、鳥居主事</p> <p>(健康課) 沼田課長、木村副主幹、池尻主査</p> <p>(包括支援センター) 澤田センター長、田中副センター長</p>	
傍聴者	2名	
次 第	議事概要	
【1はじめに】	<ul style="list-style-type: none"> ・資料等確認 ・議長あいさつ ・前回欠席委員より自己紹介 	
【2議事】 (1) 半田市介護 保険事業の実施 状況について	<p>(事務局)</p> <p>・半田市の高齢者に係る施策、介護保険に関する計画は、介護保険事業計画によりすすめられています。8期計画P.62からは、計画期間の高齢者の人口の推移や、認定者数の推移、介護サービスの利用見込など計画としてのせています。議事1では、9期計画を</p>	

【資料 1】

策定していくにあたって、現在の半田市の介護保険事業の状況を共有していきたいと思えます。

・資料 1 に基づいて、高齢者人口・認定者数・給付費等の推移、給付費の計画比・サービスごとの内訳等について説明。

(議長)

・事務局の説明にご意見ご質問はありませんか。

(委員)

・推計に対して人口が減少している理由と、このことを踏まえて今後施策をどうしていくか考えはありますか。

・半田市は他市町と比較して給付が多いということですが、必要としてる人が多いのか、それとも必要としてる人は変わらないが、よそよりも手厚く給付されているからなのか、その辺りはいかがでしょうか。

(事務局)

・まず 1 点目の人口の推移についてですが、出生率の低下に関連する影響はやはり有意にありました。また、高齢者の減と併せて若い世代も減っているという状況も確認できました。ただ、コロナの影響で外国人の方が減ったのかと考えましたが、そこはあまり変わっていませんでした。この現状を受けて施策を 9 期計画に盛り込んでいく必要があると考えています。

・2 点目についてですが、認定者数が多いので必要としている人は多いと言えますし、また、サービスを提供できる介護事業所が多いので、より手厚く給付できているともいえると思います。反対にサービスがなかったら、我慢するということになるかと思しますので、必要なサービスを受けることができる状態にあるというのが今の半田市の状況と考えています。

(委員)

・介護認定が多いとのことですが、これが適切かどうかという視点もあります。認定審査会はいくつもの班に分かれていますので、すべてにおいて安定した公平な判定が重要となってきます。

(委員)

・介護サービス事業所の方とよく話しますが、知多半島に事業所を出すって考えたときに、半田市は真ん中にあり、人口も多いので、まず半田市をサービス拠点とするという法人が多いと感じます。なので、事務局の説明のように事業所の量だとか、種類も半田市は恵まれていると思います。

(議長)

	<p>・これまでの話をまとめますと、訪問入浴だとか訪問看護だとかの給付費が計画を上回っているというのは、結局、そのサービスを担える事業所がしっかりあるから、ニーズにこたえることができている証であるともいえるということですね。</p> <p>ほかに何かございますか。</p> <p>(委員)</p> <p>・人口の話ですが、転入転出という観点で見れば転出者が多かったということだと思いますので、次の計画のときには、その原因を探っておくのは大事だと思います。</p> <p>・P.3 の介護療養型医療施設の計画がゼロなのに、実績値があるという理由を教えてください。</p> <p>(事務局)</p> <p>・介護療養型医療施設は、制度の改正で介護医療院へと移行していく施設で、計画上はその利用者を介護医療院へ計上したのですが、一部残った利用者の実績が計上されています。</p>
<p>(2) 半田市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の進捗状況について 【資料2】</p>	<p>(事務局)</p> <p>・8期計画P.42には、計画の基本理念として、住み慣れた地域で、支えあい、安心して暮らせるまちづくり ～地域包括ケアシステムの推進～ を掲げています。地域包括ケアシステムとは、医療、介護、介護予防、生活支援、住まいの5つの分野が相互の連携しながら、高齢者の生活を支えていくシステムのことです。</p> <p>・議事2では、この地域包括ケアシステムをさらによいものにするために、高齢期のライフステージごとに基本方針を設定し、取り組んでいる事業の進捗状況を説明します。</p> <p>・資料2に基づいて、第8期介護保険事業計画の進捗状況を説明。表の左側が取り組む内容で、右側がR4年度の進捗状況。年度途中のため、評価を入れられるものには評価を入力、目標に対する実施内容の達成状況はAからDの4段階で評価。</p> <p>(議長)</p> <p>・事務局の説明にご意見ご質問はありませんか。</p> <p>(委員)</p> <p>・基本方針I(1)介護予防の推進で、ハイリスクアプローチの目標が177名で、実施者数190名とありますが、この方々のスクリーニングはどのような方法で実施したかと、実際に訪問して、何か支援が必要だったという人は何%ぐらいだったかを教えてください。</p> <p>(事務局)</p>

・スクリーニングの方法につきましては、まずは最もハイリスクな人たちを対象としようということで、後期高齢者のうち過去3年間、健診なし、医療なし、介護なしというスクリーニングを実施した結果が190名になります。その方たちに対して、訪問もしくは電話という形で対応しております。

・支援が必要な方の割合につきましては、約4割が定期的に声をかけたほうがよいと思われる方でした。約6割は元気だから健診も病院も行かないという方でした。

・4割のうち、支援が必要な方は13人でした。経済的に困窮があるというような方の場合は、生活困窮の支援につないでおります。

(委員)

・健診情報と医療介護情報を突合せながら、とてもいい取組だなと思いました。今後スクリーニングの方法が洗練されてより効果的なものになるといいなと思って聞いていました。

・これは意見ですが、基本方針3認知症になってもやさしさの中で暮らすですが、区分を見ると、認知症の当事者本人に関することは、進行をおくらせるとか予防の話しかないので、9期計画では、例えば認知症になっても地域活動に参加できるとか、働き続けられるといった、社会参加に関わるような区分があるといいなと思いました。

(委員)

・個人的な話になりますが、この2月に主人が脳梗塞で倒れて介護保険を受けています。今、まさに介護保険がどういふものを勉強している中で、介護になる前の段階が非常に大切だということを実感しています。

・基本方針1介護予防の推進で、健康教育が実績48回、月で4回くらいということになりますが、ここをもっと強化してもらい、例えば、老人会の集まりや、私のところには96歳の母がおりまして、何人かで集まっておしゃべり会を毎週しているのですが、そんな小さなところにも保健師さんが来てくれて、血圧はかってくれるとか、褒めてくれるといった仕組みがあるといいなと思いました。

・当日資料「ご家族応援プログラム」ですが、サブタイトルは、「認知症になっても住み慣れた半田で暮らし続ける」となっていて、応援したいのはご家族なのか本人なのか分かりにくいかなと思いました。

・基本方針IV支援が必要となったときの介護サービスですけど、介護する人も非常に大変ですが、介護する人の思いみたいなものが、聞き取っていただけてない気がするんです。

本人の気持ちと介護する人の気持ちを何らかの形で聞いていただけるとありがたいです。

(事務局)

・検討いたします。

(委員)

・毎月第1金曜日に認知症介護家族交流会に出席しています。「ご家族応援プログラム」と「認知症介護家族交流会」との位置づけはどう違うのでしょうか。

(事務局)

・家族交流会については、「認知症家族の会」に委託する形で運営いたしております。中身としては、交流を中心にしたプログラムを組まれており、介護の基本的なお話なども聞けるような、そういった内容のものになります。

・「ご家族応援プログラム」では、専門職から話を聞くことが中心になっており、小人数で認知症に関する基本的な講座を軸に、交流も少し出来ますという内容を予定しています。本当は地域の認知症カフェで展開したかったのですが、コロナ禍ということもあって今回は市役所での実施としました。

(委員)

・確かに家族交流会も以前は10名は必ずいたのが、コロナ禍になってから3,4名になってしまいましたので、掲示板等も活用してPRしていただいて、充実するような方向に持っていただきたいと思います。それとやはり、介護をした方の体験を知ることが1番いいと思いますので、私もそういう場で話したりできますので声をかけてください。

(事務局)

・これまで「家族支援プログラム」、「家族交流会」、「プラチナカフェ」など認知症に関して、広く声を拾えるよう取組を行ってきました。そうした中で実際、介護の携わった経験を委員にもご講義をいただいたり、今回はじめた「ご家族応援プロジェクト」もその取組のひとつです。きっかけはたくさんあった方がいいなということで、いろいろと実施していますが、みなさまにもまたご協力いただくことがあると思いますので、どうぞよろしく願います。

(委員)

・今年度から認知症地域支援推進員をやっています。これまでの意見にもありましたが、本人の気持ちはどうか、社会参加はどうかというところは重要であり、9期計画の策定にあたって、いろいろ考えていきたいと思います。

・また、ご家族が今どんな思いで介護しているのかということも重要であり、今回の取組で、困っている家族が少しでも知識が増えたり、仲間ができてちょっと愚痴を言える場ができたらいいと思っています。

(委員)

・P.5 基本方針 I (2) の通いの場について、こういう場がたくさんあるのはいいなと思うのですが、登録団体 210 はどのような団体か教えてください。

(事務局)

・「通いの場」というのは非常に定義が広いです。半田市が交付対象としているものとしては、健康体操やヨガ、また健康マージャン、編み物教室といった趣味活動もあり、この助成事業をする中で、半田市では通いの場での活動が活発に行われていると感じています。

・課題にもあげましたが、補助金の対象ということは公費が出るということですので、介護予防、健康づくりの質と実績を向上させることが必要だと感じています。

(委員)

・私も後期高齢者ですが、高齢者の方はみなさん、これまでに積み上げたスキルがあって、それをそのまま埋没させてはだめだと思います。生きがいだとかやりがいを感じてもらうために、いろんな場で、そのスキルを活用してもらうということが元気につながるんじゃないかと思います。

(委員)

・8 期の介護保険事業計画にある基本方針 1 から 5 までで、半田市として特に力を入れてやっていかなければならないと考えているところはどこですか。

(事務局)

・介護保険事業計画は 3 年間の給付の見込を推計し、皆さんに納めていただく介護保険料を算定するという目的がまずあります。その上で介護保険を使わずに元気で長生きできる、いわゆる健康寿命を延ばしていくということが、半田市でもそうですし、全国的にも求められているテーマとなっています。

・これまでの皆さんのご意見も、認知症予防だとか、健康に関する環境づくりが大切だとありましたが、やはり健康寿命の延伸ということが 1 番大切かなというふうに思っております。

(委員)

・介護保険の制度なんですけれども最初全く分からなくて、分かるようになったのはケアマネジャーさんがうちに初めて来たときでした。家族が元気なときは、介護保険というものについての認識を、出来ないといいますか素通りしてたような気がします。なので介護認定を申請に行ったときなど、どこかできっちりと教えていただけるとありがたいです。

(委員)

・若年性認知症の方の支援は、この介護保険制度の中では取上げられないんでしょうか。

(事務局)

	<p>・介護保険は65歳以上だけではなくて40歳以上を対象とする部分が一部ありますので、今後、検討課題と感じております。</p> <p>(議長)</p> <p>・他にないようでしたら次へ移ります。</p>
<p>(3) 第9期計画策定に係る各種調査について</p> <p>・令和4年度「高齢者実態調査」について【資料3】</p> <p>・令和4年度「在宅介護実態調査」について【資料4】</p>	<p>(事務局)</p> <p>・介護保険法の中で、被保険者の心身の状況や環境を把握した上で、計画を作成するよう努めることとされています。現在、第9期計画の基礎資料とするため、2つの調査を実施しており、その概要について説明します。</p> <p>・令和4年度「高齢者実態調査」及び、令和4年度「在宅介護実態調査」について説明。</p> <p>(議長)</p> <p>・事務局の説明にご意見ご質問はありませんか。</p> <p>(委員)</p> <p>・この調査で、高齢者の方みなさんどんなスキルを持っているか質問させていただいて、スキルバンクみたいなものができればなあと思いました。</p> <p>(事務局)</p> <p>・このアンケート自体は無記名が原則のため難しいですが、実際に高齢者がそのスキルを生かす取組としては訪問Bというサービスを実施しています。実績としてはまだこれから伸びていくところですが、もう少し盛り上がってくるとご意見に近いイメージのものができるのかなと期待しているところです。</p> <p>(議長)</p> <p>他にないようでしたら次へ移ります。</p>
<p>【3その他】</p>	<p>(委員)</p> <p>・小学生、中学生が親の面倒を見たり、家族の世話をしたりというヤングケアラーの実態はどうなっていますか。</p> <p>(事務局)</p> <p>・ヤングケアラーについては、学校教育課やスクールソーシャルワーカー、社協のCSWが学校との連携の中で対応しています。会議体としては福祉部門全体の場に対応しているところです。</p>

	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型サービスの小規模多機能型居宅介護の公募に対して 1 法人から応募がありました。1 月 19 日に選定委員会が開催され、今回の応募者を運営事業者として承認することとしました。 ・今後の予定は 2 月中に市として正式決定をし、結果の公表を行います。 <p>また令和 5 年中に法人による施設整備、指定申請が行われ、最終的に令和 6 年 4 月 1 日から開設という予定です。</p> <p>(議長)</p> <p>他にないようですので、本日はこれにて終了とさせていただきます。長時間ありがとうございました。</p>
	<p>(15 : 40 閉会)</p>

上記議事録のとおりです。

半田市介護保険運営協議会 会長

(署名) _____